

# ま ん さ く



2018 Spring | <http://www.niimi-c.ac.jp>



Niimi College

2017年9月30日開催の第21回地方創生にいみカレッジ「鳴滝塾」で公文学長が「新見公立大学からのメッセージ—新見市と大学の持続可能な未来に向けて—」と題し特別講演を行いました。

## 【特集】

# 本学の地域貢献

各学科から

- 健康科学部看護学科
- 助産学専攻科・大学院
- 幼児教育学科
- 地域福祉学科

同窓会日より

同窓会報告・同窓生の近況

卒業生日より

卒業生報告

News & Events

入試日程、

健康科学部1学部3学科体制へほか



2017年10月28日から29日にかけて中世・新見庄で行われていた「たたら製鉄」の再現行事があり、本学の学生・教員有志が参加させていただきました。

# 本学の地域貢献

本学は、地域に根差した公立大学・公立短期大学として様々な形で地域貢献を行うよう大学全体で取り組んでいます。その活動について一部を紹介させていただきます。「地域貢献」と呼んでいますが、地域の皆様のご協力・ご理解もいただいているからこそ成り立っていることに深く感謝申し上げます。

## ももパト隊

岡山県内の大学生でつくる防犯ボランティア「ももパト隊」に本学の学生35名が所属し、防犯パトロールや啓発活動を行っています。



## 塩から子(冬)

地域の小学生を対象とした市主催の「にいみ塩から子」育成事業に夏と冬に参加しました。学生は参加者のグループリーダーとして、参加者の活動を「見守り、寄り添う」を基本姿勢として関わり、参加者の支援を行いました。

## クリスマス会(にこたん)

地域の子どもたちと一緒に歌やダンスをして楽しく活動しました。サンタさんからのプレゼントに子どもたちが喜ぶ姿も見られました。



## 健康祭り

地域で行われる「健康祭り」に健康測定ブースを設け、地域住民の方の血圧や体脂肪などの測定と、疾病予防について説明をしました。

## 読み聞かせボランティア

毎週、地域の小学校に行き、季節の絵本や楽しいお話の読み聞かせをしています。感想を発表してくれたり喜んでくれたりするので、やりがいを感じています。



## シミュレーション・トレーニング

岡山大学と連携し、新見地域の医療者のスキルアップに貢献しています。



## 高瀬地域との餅つき

毎年12月に高瀬地区の方々に教えていただきながら餅つきを行います。餅つきをとおして地域の方と交流でき、また昔ながらの杵と臼で餅をつくという貴重な体験をしました。



## 土下座まつり

新見市伝統の「御神幸武器行列」が毎年10月15日に開かれます。「土下座まつり」と呼ばれ、厳かに進む大名行列に対し座って拝観する伝統行事です。お囃子の演奏やお神輿を担いでいます。

## 公開講座

毎年、本学で地域の方を対象に健康や生活、文化など多岐にわたるテーマで公開講座を開催しています。



## 田植え祭参加

伝統の衣装に着替え、伝統の踊りを踊りました。牛が代かきをした田んぼで哲西はやし田植え保存会の皆さんと田植えをしました。

## 機能別消防団

個々の能力や事情に応じて特定の消防団活動に参加する機能別団員として、本学の学生48名が活動しています。



## サテライト・デイ

新見市内の公民館など高齢者が歩いて来られる場所に学生と教員が出向き、参加者の健康チェックや健康に関する知識の提供などを行います。高齢者との交流をとおして、学生は新見の文化なども学ぶことができます。

# 健康科学部看護学科

## 看護学セミナー委員長を務めて

看護学科2年次生 織部 真帆

本学では、従来行ってきた戴帽式から儀式的継承とともに学生が自主的に学ぶ機会として看護学セミナーを開催しています。今回は「自分らしく生きる～統合失調症を3つの視点から学ぶ～」というテーマで行いました。

学生が主体的に企画運営するのは簡単なことではなく大変なこともありました。先生方やメンバーの協力があり成功させることができました。実際にその病気を体験し付き合いながら生活されている方々からのお話を聞くことは滅多にない機会なので、貴重な時間を過ごすことができました。



## 先輩と語る会

看護学科3年次生 菊池 知咲

看護学科3年生を中心に企画・運営した「先輩と語る会」を1月18日に開催しました。「先輩と語る会」は、先輩方から直接、仕事内容ややりがい、進路・就職先の決め方、国家試験対策など多岐にわたるお話を聞くことができる会です。今回は、看護師、保健師、助産師と異なる職種の先輩方5名のお話を伺いました。交流会では、私達の抱えている将来に対する疑問や不安に対して先輩方は、親身になって助言をくださいました。この会は、自分の将来について改めて考える有意義な時間となりました。先輩方からいただいた助言を参考に、自らの意志で進路を選択、決定していけるようにこれからの大学生活を励んでいきたいと思えます。



## 卒業研究をとおして

看護学科4年次生 前田 麻花

10月13日、健康科学部看護学科で学部名変更後初めての卒業研究発表会が開催されました。卒業研究を進める中で何度も問題に直面しましたが、乗り越える度に新たな発見や学びがあり、発表会を無事に終えたときには、大きな達成感を味わうことができました。

卒業研究への取り組みを通して、研究テーマに関する知識を深めるとともに、改めて周囲の人々の支えの有難さを感じました。この経験と学びを看護実践の場でしっかりと生かしていきたいと思えます。



## 『公衆衛生看護学実習』 『家庭訪問実習』を終えて

公衆衛生看護学 教授 矢庭 さゆり

今年も16名が全員そろって2つの実習を終えました。『家庭訪問実習』は、新見市健康づくり課の協力を得て、高齢者および妊産婦と乳児がいるご家庭を訪問させていただいています。家庭訪問は保健師活動の原点です。複数回におよぶ訪問は“地域での暮らし”“個々の生活の姿”を学ぶ貴重な機会となっています。『公衆衛生看護学実習』は県内3保健所および4市町村に出向き3週間にわたる行政での地域保健活動を学びました。そこでも地域特性に合わせ住民と協働で行う“健康づくり”“地域づくり”の大切さを学んでいます。

# 助産学専攻科・大学院看護学研究科

## 出産の感動が忘れられない 分娩介助実習

助産学専攻科3期生 岩佐 和美

4月に入学し、6月から助産学実習が始まり、12月で無事実習を終えることができました。実習では、多くの産婦さんと関わらせていただく中で、教科書通りにはいかないことや自分の知識不足を痛感する毎日でした。出産と向き合い、赤ちゃんが無事に生まれた時の感動は私にとって忘れられないものとなりました。また、産婦さんだけではなくご家族とも関わらせていただくことで、家族の絆も学ぶことができました。1年間は、勉強や実習など大変な毎日ですが、助産学実習を経験することで、今まで以上に、助産師は、生命の誕生や女性の一生に携わることのできる素敵な仕事だと確信することができました。



## 助産師への思いを より強くした助産学実習

助産学専攻科3期生 白神 紅美

助産学専攻科に入学してから約8か月。12月に、全ての実習を終えました。分娩介助実習では自分の経験や知識不足に歯がゆい思いをしながら、座学で学んだ根拠の大切さを痛感する日々でした。実習先の実習指導者様や先生方のサポートもあり、一つ一つのお産と真剣に向き合いながら成長していくことができました。初めて赤ちゃんを取り上げた瞬間のこと、産婦さんから涙ながらに感謝の言葉を頂いたこと、そのどれもが私の助産師になりたいという思いを強くしました。もちろん、助産師を目指して勉強や実習に忙しいこの1年間は楽なものではありませんでした。しかし、信頼できる仲間や先生方と楽しく目標に向かって努力することができたように思います。



## 大学院で楽しかったこと・ 印象に残っていること

大学院看護学研究科1年 岩下 ますみ

大学院での授業は終始楽しく、その興味深く精通した内容は私の看護観に常々響いています。この1年の印象的な出来事は、かねてからの念願で、受験動機でもあった学会での発表を経験したことです。内容を5分間で報告するための効果的なプレゼン方法を講義やゼミをとし

て学び、また本番同様に質問を受ける練習を教員、同級生の協力の元、準備を重ね、初の全国学会での発表に臨みました。この5分間にかけた私の挑戦は、貴重な経験として自信に繋がり、次の目標に向かうきっかけになりました。学会発表の経験や大学院での学びを臨床での看護や今後活かせるように、これからも頑張っていこうと思います。

## 特別研究

大学院看護学研究科2年 福島 康子

「特別研究」は、個々の研究計画に基づいた研究プロセスの習得を目的に、研究に取り組んでいます。臨床での経験や疑問を研究課題として取り上げ、看護学の発展に寄与できるよう研究をすすめています。現在2年生は、調査結果を分析し、担当教員の指導を仰ぎながら論文作成に励んでいます。論文作成やプレゼンテーションの準備など、大変ですが大学



院での学びの集大成として論文の完成に向けて、残りの大学院生活を送っていきたいと思います。また、私達を支えてく

ださった方に感謝し、研究の発展に向けて今後も励んでいきたいと思っています。

# 幼児教育学科

## はじめての実習

幼児教育学科1年次生 宇山 奈穂

不安と緊張でいっぱいの中、初めての保育実習を行いました。保育所での生活の様子や先生方が子どもたちと関わる様子を観察させて頂き、また実際に子どもたちと関わることによって10日間という短い時間の中ではありましたが子どもたちの様々な姿を見ることができました。一人ひとりに合った言葉掛けや援助の仕方等現場でしか学ぶ



ことのできない貴重な経験をすることができました。実習をすることのできる環境に感謝し今回得たものをこれからの学びに生かしていきたいです。

## 先輩方から学んだこと

幼児教育学科1年次生 伊藤 鈴

先日開かれた先輩と語る会に参加しました。この会では、幅広い分野で活躍する先輩方から就職の話をうかがうことができたため、将来の視野を広げることができました。また、就職までの取り組みや仕事内容についてより具体的にお話をいただいたため、自分の目指す仕事についてしっ



かりと理解することができました。実際に職場で働かれている方からの視点で、保育士として必要な資質なども知ることができました。職域別のブースに分かれてからの懇談会は、先輩方との距離も近く、とても質問しやすい環境でした。この会で学んだことを、これからの学生生活や就職活動に生かしていきたいと思いま



## 「第58回中・四国保育学生研究大会」に参加して

幼児教育学科2年次生 加藤 晴美

昨年の12月2日に四国学院大学で開催された中四国保育学生研究大会に、4名の仲間と共に発表者として参加させていただきました。発表題目は「アニメシオ

ン手法を用いた絵本の読み合い—4歳児を対象とした実践—」です。当日は、緊張もありましたが、無事発表を終えることが出来ました。今回の発表の過程で見つけた課題を踏まえ、今後は、研究主題についての理解をさらに深め、保育現場に出た際に生かすことが出来るようにしていきたいと思えます。



## みんなで力を合わせて

幼児教育学科1年次生 尾崎 史歩

私はゆめのぼけっとで身体表現の発表をしました。最初は振り付けを覚え、間違えないように踊ることで精一杯でした。しかし、先生方や先輩方から様々なアドバイスをもらう中で、ただ踊るだけ

く、どのようにしたら子どもたちに楽しんでもらえるかを考え、表情や動き、小道具などを工夫することが大切だということを感じました。本番は練習してきたことを出しきれ、楽しく踊ることができました。今回得た経験を今後に生かしていきたいと思えます。

## 2年間の集大成

幼児教育学科2年次生 元山 寧々

「ゆめのぼけっと」の歌とダンスは、子どもたちが一緒になって取り組んだり夢中になって見たりするものを選びました。1年生の時は、まだまだ未熟で恥ずかしさもあり、自分を最大限に出すことが出来ませんでした。しかし、1年経った今、先輩方に少し近づけた気がしています。本番は子どもたちのかわいさにみんな笑顔がとまりませんでした。

「ゆめのぼけっと」をとおして、表現の力や保育者の影響力等多くのことを学ぶことができました。また、私は最後の曲を大好きな幼教2年全員で歌いたいと思っていたので夢が叶って幸せでした。



## 高尾文化祭を終えて

地域福祉学科1年次生 黒木 幸子

私たちは、高尾文化祭に参加させていただきました。高尾文化祭では地域福祉学科のブースをご用意いただき、認知症についての説明や頭の体操のような簡単なゲームを用意しました。当日まで皆と話し合いをし、内容だけでなく、どのようにすれば伝わりやすい発表になるのかを考えることは大変でした。当日は高尾地区の方々が出されているお店の手伝い

をしながら、自分たちのブースで説明を行いました。私たちが準備したブースに多くの方が来てくださり、実際にゲーム等と一緒に行う中で、高尾地区の方々との距離を近づけることができました。また、質問もたくさんしていただいたおかげで、より中身の濃い発表になったと思います。今回の高尾交流会を通して、人とかかわることの大切さを改めて感じました。高尾地区の方々のおかげで、多くのかかわりを持つ



ことができました。今後はこのかかわりを大事にしつつ介護福祉士の学生としても役立てていきたいです。

## 認知カフェ『ポエム』に参加して

地域福祉学科2年次生 坂根 成美

私は、1年生の頃から認知症カフェにボランティアとして関わらせてもらいました。認知症カフェでは、地域の方々や認知症当事者、介護家族が集まり、一緒にお茶やゲームをして賑やかに活動しておられます。そういった活動の際、私は在宅介護をしておられた方のお話を聞かせていただきました。お話の中で、介護



福祉専門職との関わりが介護への意欲につながり、自分のしている介護がこれでもいいのかなと思えたという言葉がありました。孤立しがちな介護家族にとって、

認知症カフェは専門職などと関わり、情報交換や自分の経験を語ることのできる場として重要な役割を果たしていると感じました。

また、地域の方々と利用者さんが世間話をして楽しんでいる様子もみられ、交流の場となっていました。そうした関わりが、認知症高齢者に目を向け、理解を深めるきっかけになり認知症高齢者とその家族を地域で支える大切な場になっていると感じました。

## 地域福祉研究発表を終えて

地域福祉学科2年次生 安田 圭汰

2017年10月3日に地域福祉研究発表会がありました。1年次後期から研究を始め、途中で介護実習があったり、さらに私は編入試験があったりと、様々な事が並行して研究が進んでいきました。そのため、毎日が激流のように過ぎていき、あっという間に発表当日になりました。論文作成と発表に向けて先生とのやり取りを重ね、時間をかけ作り上げた自分の

研究を発表することは、とても誇らしかったです。発表後は先生も含めて皆が達成感と安堵の気持ちにあふれた顔になっていました。

この度の論文作成と研究発表を通して、1つのテーマに対して多角的な視点で深く考え、理論的に文章を組み立てる力がつきました。また、スケジュールを立てて実行することの大切さや、人に自分の意見を伝えることの難しさも感じました。

この研究で得た学びや力を今後生かしていくことが、この研究の目的だと私は思っています。これからも福祉について考え、学び続けて生きたいと思います。



## 熊本県立 多良木高等学校

第25回

母校自慢

地域福祉学科1年次生 國政 伊吹

私の母校は盆地にあり、田畑に囲まれた自然豊かな場所にあります。そんな私の母校多良木高校を紹介します。学科は普通科ですが、その学科の中には3つのコースがあります。普通コース、スポーツコース、そして私が所属していた福祉教養コースです。元々、多良木高校は地域との交流が盛んで、特に福祉教養コースは地域

に住まわれているお年寄りの方々との交流が多くありました。具体的には、一緒にグランドゴルフなどで体を動かすことや、一緒にその地域の郷土料理などを食べる機会もあり、様々な交流を図っていました。このように地域との密接な関係を築くことができたのは、挨拶ができる生徒が多いからだと思います。挨拶はコミュニケーションの基本であり、他の場面にも生かすことができるという考えを私は多良木高校で学びました。高校で学び体験したことを新見公立短期大学で生かしながら、現場の最前線で活躍する介護福祉士を目指し頑張りたいと思います。

# 同窓会 だより

同窓会事務局からのお知らせ

同窓生の近況を  
報告します。



## 同窓会開催のお手伝いをします

卒業生の皆様が同窓会を開催される際、大学がそのお手伝いをさせていただきます。

学部・学科と卒業年度及び開催時期などを本学学務課へお知らせいただければ、同窓会の案内を発送し、出欠を取りまとめ、同窓会幹事へ連絡をします。同窓会を企画されている幹事の皆様、ぜひご連絡をください。

- 事務局が案内した同窓会（前号以降）  
・看護学科 1 期生 / 11月19(日) / 岡山市

## ご寄付をいただきありがとうございました

本学創立40周年に向け、卒業生の皆様方に一口1,000円の寄付をお願いいたしましたところ、平成29年1月末現在、個人191人、2団体から総額544,620円のご寄付をいただきました。同窓会へ多額のご寄付をいただき、誠にありがとうございました。皆様のご寄付に対しまして心よりお礼申し上げます。

今後とも、会員相互の交流を深め、絆を強め、活発な同窓会活動を行うため、同窓会員皆様のご理解ご協力及びご寄付を引き続きお願い申し上げます。

## 同窓会評議員会のお知らせ

新見公立大学・短期大学同窓会評議員会は本学の大学祭「鳴滝祭」が開催される5月12日(土)に開催する予定です。役員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、ご案内は後日させていただきます。



多くの卒業生が  
来学してくれています!!

恩師や母校を懐かしんで訪れてくれるだけでなく、後輩たちへの激励や職場での研究活動における助言・指導を得るため、結婚する友人へのサプライズ動画撮影など、様々な目的で母校に帰ってきてきてくれています！

## 新見女子短期大学看護学科1期生は同窓会をしました！

代表幹事 金山 時恵(旧姓:田丸)さん 看護学科1期生

**平** 成29年11月19日、岡山市内にて、新見女子短期大学看護学科1期生の同窓会を開催いたしました。子育てもほぼ終わり、現在は孫育てをしている人、息子や娘がなかなか縁がないなど私生活の現状も語り合いながら、あっという間の2時間でした。

皆さん、病院や施設、訪問看護ステーション、子育てセンターなどで看護師、行政機関で保健師として各分野で頑張っております。そして、何よりも楽しく仕事をしていることが話しから伝わりました。次回は、還暦を迎える4年後に旅行を計画しています。皆さん、是非ともご参加ください。それまで元気で過ごしましょう。



## 新見女子短期大学幼児教育学科7期生同窓会

代表幹事 双道 昌子(旧姓:江田)さん 幼児教育学科7期生

地元幹事 山田 かおり(旧姓:上田)さん 木村 美子(旧姓:黒川)さん 森本 弓美子(旧姓:小林)さん  
新地 佐智子(旧姓:定森)さん 元田 順子(旧姓:白石)さん

**平** 成29年10月28日、岡山市で幼教7期生の同窓会を開催しました。卒業後5年間は毎年開催していましたが、仕事や子育て等でなかなか難しくなり、5年ごとに開催する事になりました。その後、新見市で5年ごとに開催していましたが、卒業後30



年の節目の今回は、場所を岡山市に変更しました。その理由は、恩師の先生方が神戸、広島など新見から遠い地にいらっしゃる事や、同級生も遠方に在住されている事から、少しでも多くの方に参加して頂きたかったからです。

ホテルでの同窓会も考えましたが、手作り感のある楽しい会にしようと、地元在住の仲間に協力して頂き、イタリアンレストランでの温かみのある同窓会を開催する事ができました。皆勤賞の人、初参加の人…30年経っても変わらない笑顔がそこにありました。今回参加できなかった恩師、そして仲間達。会えなくても7期生の「絆」があります。

5年後には、一人でも多くの仲間達が集まれる場を準備できたらと、幹事団で決意しました。一人ではできなかった事を助けてくれる仲間達、そして集まってくれる仲間達に感謝し、7期生の「絆」が長く続く事を願っています。

## 看護学科22期生 同窓会

代表幹事 受川 静香(旧姓:賀田)さん 看護学科22期生

**卒** 業から14年が過ぎ、仕事や家庭と忙しい日々を過ごすなか、少しだけ現実逃避をいたしました。

懐かしい顔ぶれに昔話が花咲き、同級生の頑張る姿に自分自身励まされました。なにより14年過ぎて、変わらない同級生のみんなに再会出来たことが嬉しかったし、本当に14年も過ぎたのかと年を重ねる早さに驚きました。

今回の同窓会は、連絡が取れる人たちでの集まりだったため、極少人数で行われました。次回は、5年後に懐かしい新見公立大学で盛大に行いたいと思います。

私たち同級生でグループラインを作成し、同窓会の案内をしています。今回、来られなかった方も新短(私たち同級生)のグループラインに是非とも参加していただき、次回同窓会に参加していただければと思います。

また、ラインをされてない方の連絡先をご存知の方は、皆が参加できるように連絡を回していただきたいと思います。



# 卒業生だより

## 地域の中で働くこと

西村 幸実(旧姓:小山)さん 地域福祉学科12期生

私は短大卒業後、在学中にユニットケアへ興味をもち、介護実習でお世話になった新見市内の特別養護老人ホームへ就職しました。就職した2年後に結婚、出産のため退職しましたが、ご利用者一人一人に合った個別ケアにやりがいを感じ、楽しく働くことができました。1年間ほど育児に専念した後に、要介護認定調査員として市役所で働くことになりました。そこで市内各地の支援を必要とされる方のご自宅の訪問を通して、新見市の地理も知る事ができました。また、どうい

た事に高齢者が困られているかも知り、その福祉ニーズに応じていく仕事をしたいと新たな目標もでき、それが私にとって大きな転機となりました。二人目の子供を出産後、現在は新見市社会福祉協議会で専門員として仕事をしています。今まで培った知識や経験を生かし、高齢者福祉だけでなく、地域福祉の推進に取り組み、新見に恩返しをしたいと考えています。



## 大好きな地元、新見で頑張っています

岡本 由佳(旧姓:赤木)さん 幼児教育学科24期生

幼児教育学科を卒業して13年が経ちます。卒業後、保育士として働いていましたが、出産を機に転職し、縁あって母校で、主に学長秘書兼地方創生にいみカレッジ「鳴滝塾」の事務担当として働かせてもらっています。

仕事を始めた当初は、保育士との仕事内容のギャップに戸惑いましたが、日に日に慣れていき、今は事務局でパソコンと向き合いながら頑張っています。時々、子育て広場「にこたん」から子どもの笑い声や泣き声が聞こえてくると、「あ！

行かなきゃ」という気持ちになることもあります。



現在、大学は四大化に向け動いています。平成32年には新校舎が完成予定です。まだ、建物の工事は着工していませんがこれから始まるので、どんな風になるのかと今からワクワクしています。学生さんも増えます。新見のまちも賑やかになりそうです。学生さんに楽しいキャンパスライフを送ってもらいたいと思っています。「新見公立大学に来て良かった」と思ってもらえるよう、自分に出来ることを見つけ頑張っていきたいです。

## ご縁を大切に新見の地でがんばっています！

藤田 彩見さん 短期大学看護学科26期生  
地域看護学専攻科5期生



母校に着任して早いもので5年目を迎えます。健康科学部看護学科 公衆衛生看護学領域で主に保健師を志す学生たちと関わっています。学生たちが日々成長していく姿をみると、教員としてのやりがいや喜びを感じます。これまでの学びや経験、出会いなどのご縁があって、今の自分があるのだと実感する毎日です。保健師から教員へと職種は変わりましたが、人と関わることが好きなことには変わりはありません。今までの学びや経験、

出合いを大切にしながら学生たちと向き合い、本学のOGとして恥ずかしくないよう、これからもチャレンジを続け、微力ながら大学や新見に貢献できるように頑張っていきたいと思います(広報委員も!)。※私たちの記事を読み、新見や級友たちとの記憶に思いを馳せてくださった方、大学が同窓会のお手伝いをいたしますので、是非ご相談ください。ご連絡お待ちしております。

# News & Events

学内のお知らせ  
イベント案内

## 2019年度入学生選抜試験日程

### 【大学】

#### 健康科学部

- 地域福祉学科  
推薦入試：2018年12月13日(木)  
一般入試(前期日程)：2019年2月25日(月)  
一般入試(中期日程)：2019年3月8日(金)
- 健康保育学科  
推薦入試：2019年1月31日(木)  
一般入試(前期日程)：2019年2月25日(月)  
一般入試(後期日程)：2019年3月12日(火)
- 看護学科  
推薦入試：2019年1月31日(木)  
一般入試(前期日程)：2019年2月25日(月)  
一般入試(後期日程)：2019年3月12日(火)

#### 助産学専攻科

- 特別入試：2018年8月17日(金)
- 一般入試：2018年11月17日(土)

### 【大学院】

#### 看護学研究科

- 一般入試・社会人特別入試(前期日程)：2018年8月31日(金)
- 一般入試・社会人特別入試(後期日程)：2019年3月9日(土)

※後期日程は、前期日程で定員を満たさなかった場合のみ実施します。

## オープンキャンパス2018 キャンパスを実際に見てみよう!



第1回

7/15.16  
(日・月祝)

第2回

10/27.28  
(土・日)

日時：12:30～15:30(受付 11:30～)

会場：本学キャンパス

内容

- 学科紹介
- 実習・実技体験コーナー
- 茶話会 ～在学生とのフリートーク～
- 個別なんでも相談コーナー  
～入試・取得できる資格・学生生活・就職状況 等々～

\*ご参加希望の方は、開催日が近づきましたら、ホームページ上のオンラインフォームでお申し込みください。

★プレゼント  
オリジナルグッズ  
入試過去問題集  
等

## — 新見公立大学の新たな挑戦 — 健康科学部1学部3学科体制へ

### 2019年4月スタート

2018年4月文部科学省に改組の届出を行う予定です。  
取得可能な資格等は変更となる場合があります。

### 地域を拓く健康科学

地域ぐるみで支えあう保育

#### 健康保育

保育士・幼稚園教諭・  
特別支援学校教諭

#### 看護

看護師・保健師・  
助産師・養護教諭

#### 地域福祉

社会福祉士・介護福祉士

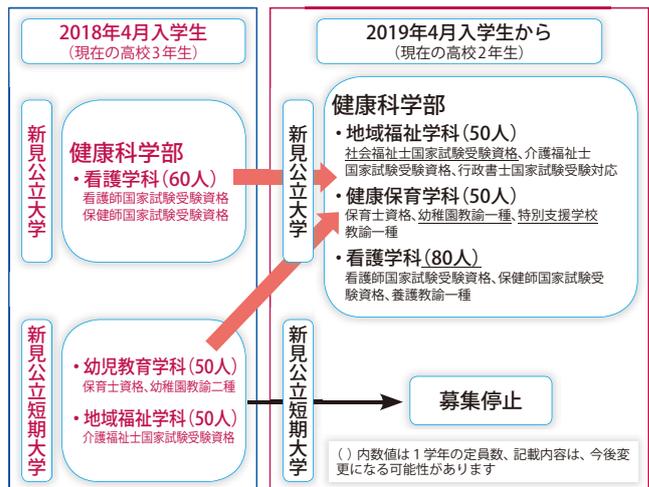
共生社会の基盤を創る福祉

心と体の健康を支える看護

### 改組の概要

2019年4月より、新見公立短期大学の地域福祉学科と幼児教育学科の募集を停止し、新見公立大学健康科学部に四年制の地域福祉学科と健康保育学科を開設して、現在の看護学科とともに1学部3学科体制に改組いたします。

### 人と地域を創る“新見公立大学” 2019年4月地域を拓く“健康科学部”3学科に改組



### “21世紀型スーパー福祉人材”の育成

#### 地域福祉学科の4年制化に伴う主な変更点

1. 社会福祉士と介護福祉士の強みを兼ね備えた両方の資格取得課程の設置
2. 専門性重視の副専攻カリキュラム(共生社会推進士、地域介護専門士、防災士全員取得)
3. 推薦入試枠での地域優先選抜枠の拡充(10人)
4. キャリア支援センターを設置し、地方自治体の一般行政職員・福祉専門職員への就職を支援

### “就学前教育・保育のリーダー”の育成

#### 健康保育学科の4年制化に伴う主な変更点

1. 発達障害への対応・支援と病児保育について学修
2. 特別支援学校教諭養成課程の設置
3. 推薦入試枠での地域優先枠の設置(5人)
4. 新見公立大学教育支援センターの設立  
-新見市内の全ての保育施設と連携し、地域ぐるみの子育てを実践

### “心と体の健康を支える看護専門職”の育成

#### 看護学科の主な変更点

1. 定員:80人に増加
2. 養護教諭養成課程の新設(10人)
3. 推薦入試枠での地域優先選抜枠の拡充(10人)
4. 訪問看護・地域看護コースの新設

# まんさく

2018年3月号  
Vol.55 (Spring)



## 編集後記

先日、顔見知りの新見市民から「先生、今年の冬はオリンピックじゃなあ」と話し掛けられました。ピョンチャン冬季五輪のことだろうと思いきや、「暖冬続きで今年のように寒い冬は4～5年に一度じゃけえなあ」とのこと……なるほど。

かくして、ダブルオリンピックとなった今冬は、市内各所で水道管が凍結したほか、雪の影響で「やくも」が運休し、短大の(最後の)一般入試に影響が出るハプニングもありましたが、それでも少しずつ春の気配を感じるようになってきました。季節を着替えながら暮らす私たちに、この地は「**新しい季節を見つけさせえ**」と呼びかけているようです。

今号は「学生の地域貢献」を特集しました。ボランティア活動やサービス・ラーニングなどその形態は様々ですが、いわゆる「**風と土**」関係で学生と地域住民が協働している姿が浮かんできます。

時に、ルソー(J.J.Rousseau)は社会契約論で「社会とは、地域住民が互助の関係を築き合い、自らの自由を社会に譲ることによって、個々の生活の自由を得る」ものとしていますが、この意味を巡って学生時代に下宿仲間と毎夜議論し合ったことを今更ながら思い出します。いわんや、地域貢献の意義やその交互作用性をも示唆するこの言葉を学生諸氏に贈って(考察課題として)後記といたします。(佐藤)

## 発行

新見公立大学・新見公立短期大学

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

TEL.0867-72-0634

FAX.0867-72-1492

URL: <http://www.niimi-c.ac.jp/>

広報委員会アドレス [koho@niimi-c.ac.jp](mailto:koho@niimi-c.ac.jp)

## 編集

### 広報委員会

広報部長

山内 圭

広報委員(50音順)

梶本佳照 栗本一美 小郷敏男 佐藤伸隆

芝崎美和 棚田裕二 羽場裕倫 平田智子

藤田彩見 矢嶋裕樹 山本里香

## 受賞のお知らせ

公文裕巳学長は「上部尿路疾患に対する診断と治療の標準化を始めとする泌尿器内視鏡学の研究・発展への貢献」により、公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団から平成29年度の【顕彰】を受けました。慶祝の意を表したいと存じます。

## 新見公立大学ふるさと育英奨学基金(給付型)

本学は、新見市の「ふるさと納税(ふるさとにのみ応援基金)」制度を活用した新しい給付型奨学金「新見公立大学ふるさと育英奨学基金」を2019年度の改組(短期大学の四大化)にあわせて創設します。この給付型奨学金を活用して、看護・保育・福祉を学びたいと考えている優秀な学生を応援し、保健福祉の人材を育成したいと考えています。

今後、皆さんからの寄付金をもとに、「給付型学生奨学金制度」を運用していきます。母校への寄付が、保健福祉をリードする人材の誕生を支えます。母校で学ぶ後輩の夢を応援してください。

2018年1月末現在、ふるさと納税制度を利用し、本学に対し110件、計4,031,471円のご寄付をいただいています。誠にありがとうございました。引き続き多数の皆様からのご協力をお願いします。

### ふるさと納税

ふるさと納税は、自分と関わりが深い地域を応援したいという思いを生かすため、地方公共団体に対して寄付を行った場合に、所得税と個人住民税が軽減される制度です。

### お申し込み方法

以下の方法でお申し込みいただけます。

#### A. インターネットからお申し込み

- **新見市ホームページの「電子申請サービス」**からお申し込みできます。以下のアドレス、  
新見市ふるさと納税ホームページ

[http://www.city.niimi.okayama.jp/kurashi/kurashi\\_detail/index/1259.html](http://www.city.niimi.okayama.jp/kurashi/kurashi_detail/index/1259.html)

- **ふるさと納税サイト「さとふる」**からお申し込みできます。以下のアドレス、  
さとふる新見市ふるさと納税ホームページ(クレジットカード等でできます)

<https://www.satofull.jp/city-niimi-okayama/>

#### B. 郵送、FAX、メールでのお申し込み

学報「まんさく」に同封しました「新見市ふるさとにのみ応援基金 寄付申出書」に必要事項を記入してください。その際に寄付金の使途目的を『**ゆたかな「文化のまち」**』に指定し、「**うち新見公立大学・短期大学**」に寄付金額を記入してください。記入後は、郵送(岡山県新見市新見310-3)またはFAX(0867-72-6243)またはメール([kikaku@city.niimi.lg.jp](mailto:kikaku@city.niimi.lg.jp))で新見市役所企画政策課へ送ってください。

【お問合せ先】

新見公立大学・短期大学事務局学務課 TEL:0867-72-0634

## 2017年度 進路状況 (2月23日現在)

(単位:人)

学部・学科	内訳	卒業予定者	専門職	一般職	進学
健康科学部看護学科		62	54	0	8
助産学専攻科		5	5	0	0
幼児教育学科		56	51(2)	0	3
地域福祉学科		40	29(3)	1	7

注:( )内は未定者数



### 学内美術鑑賞

## 「たんぽぽの唄」

ポリエステル樹脂 第41回日展 岡本直行 作

春に華々しく咲く桜とは対照的に、道端にひっそりと、しかし、地に根を張り逞しく咲く、たんぽぽの様子を女性像に重ねた作品。片足重心の静かなポーズと軽やかなリズム、量の構成、ムーブマンなどによって、春の訪れとともに一輪ずつ静かに、着実に咲く花の様子を表現している。

(幼児教育学科准教授(造形):岡本直行)